



今日のキーワード Withコロナの『経済活動再開』は暗中模索

新型コロナウイルスの感染拡大以降、各国・地域は感染抑制のため大規模な行動制限を行い経済活動を落としてきましたが、ここにきて『経済活動再開』に動き始めています。新規感染者の減少や拡大ペースの鈍化がみられる一方、各国経済が甚大な被害を受けていることが背景にあります。但し、経済活動を再開すると人の往来が活発になり、感染が再拡大するリスクが高まることから、各国の動きは暗中模索の状況にあります。

感染抑制と景気浮揚のバランスをとりつつ、『経済活動再開』へ進む

- 世界各国は外出制限の緩和や営業活動の許可など、『経済活動再開』へ動き始めています。製造業、建設業や小売業などの制限緩和は進みますが、飲食業やサービス業などの活動再開はもう少し先になりそうです。
- 各国は概ね、①感染拡大の鈍化、②大規模な検査能力、③十分な医療体制を条件としていますが、十分とは言えない中での『経済活動再開』の動きもみられることや、先行した中国・韓国・ドイツなどで感染再拡大の兆候が確認されるなど、第2波・第3波の抑制が課題となります。今後は、制限緩和と制限強化を繰り返しながら感染抑制と景気浮揚のバランスをとるといいう難しいかじ取りが続きそうです。

【主要各国の『経済活動再開』への動き】

国名	外出緩和日	店舗営業再開日	緩和基準/再制限基準等
日本	5/7以降順次	5/7以降順次	政府は14日をメドに、①一定期間の新規感染者数や感染経路不明患者の割合、②人工呼吸器などの医療提供体制、③PCR検査を含む感染状況の監視体制としている解除基準の具体的な数値を示す方針。
米国	カリフォルニア州 5/8～	小売店等：5/8～ 飲食店等：未定	経済活動の再開を3段階で進める指針を発表。 各地域が経済活動の再開を判断するための要件として、①新規感染者数が14日間、減少傾向、②医療機関がすべての患者に対応可能、③強力な検査体制などを上げた。 但し、緩和の判断は州ごとに行われるため、対応には温度差が見られる。
	テキサス州 4/24～	小売店等：4/24～ 飲食店等：5/1～	
	ニューヨーク州 5/15～	未定	
ドイツ	4/20～	5/6～	ある地域で7日間のうちに、人口10万人あたり50人を超える新規感染者が出た場合、その地域に追加の制限措置を適用する「緊急メカニズム」を導入。
フランス	5/11～	小売店等：5/11～	ソーシャルディスタンス（社会的距離）の順守を求め、100キロメートルを超える移動は原則禁止する。地下鉄、バスなど公共交通機関を利用する際は、マスク着用を義務づける。
		飲食店等：6月目標	
イギリス	5/13～	小売店等：6/1～	1人の患者から新たに何人に感染するかを示す「再生産数」が、順調に下がっていくことを条件とした。
		飲食店等：7月目標	

(出所) 各種報道を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2020年4月28日 当面のマーケット見通し

2020年3月18日 コロナ対策で世界各国・地域が『行動制限』を強化

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。